

# ねっどわく

No.25

吉野川保健所管内  
集団給食施設協議会

発行 令和7年3月31日  
事務局 〒776-0010 吉野川市鴨島町  
鴨島106-2吉野川保健所内  
U R L <https://yoshiho-9shoku.org>  
T E L 0883-36-9018  
F A X 0883-22-1760



## ごあいさつ



吉野川保健所管内  
集団給食施設協議会  
会長 玉谷 逸郎

日頃より吉野川保健所管内集団給食施設協議会の活動にご尽力をいただきまして、誠にありがとうございます。

本会は、会員施設間の連携を密にすることにより、相互支援及びネットワークづくり、給食施設における危機管理や生活習慣病対策、給食管理運営体制の向上等を図り、給食喫食者と地域の方々の健康増進及び食育に寄与することを目的に活動しております。

令和6年は、能登半島地震に始まりました。そして9月の大雨では、やはり能登半島で大切な人命が失われ、復旧半ばの住居が流失、床上浸水に見舞われる事態をみています。徳島県も、南海トラフ巨大地震がいつ発生するかわからない状況です。

本会においても、災害等の緊急時を見据え、いついかなる時も、給食を食べておられる方々に安全で栄養的な食事を提供すべく「緊急時の食事提供に関する手引き書」を作成し、研修や訓練を積み重ねて参りました。これらの取組は、コロナ禍において給食の提供が困難になった時も、大いに力を発揮したところ です。

今後においても、目的達成のために各事業に取り組み、会員の皆様のスキルアップに努め、美味しく、栄養バランスのとれた給食の提供を通して、地域住民の健康増進、健康長寿にも尽力して参りたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

最後になりますが、会員の皆様のご理解とご協力に深く感謝いたしますとともに、本会の発展と皆様方の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。



## 令和6年度 表彰受賞施設・受賞者の皆様

### 令和6年度栄養関係功労者厚生労働大臣表彰

(五十音順・敬称略)

【特定給食施設】徳島県厚生農業協同組合連合会 阿波病院



### 徳島県集団給食施設協議会 会長表彰

【優良施設】 医療法人 鈴木内科

【優良従事者】

社会福祉法人博友会 特別養護老人ホーム 美山苑

社会福祉法人博友会 養護老人ホーム 芳越荘

### 吉野川保健所管内集団給食施設協議会 会長表彰

【優良施設】 社会福祉法人健祥会 老人保健施設 健祥会ウエル



【優良従事者】

社会福祉法人共生会 障がい者支援施設 すみれ園

徳島県厚生農業協同組合連合会 吉野川医療センター

独立行政法人国立病院機構 とくしま医療センター西病院

徳島県厚生農業協同組合連合会 阿波病院

受賞施設・受賞者の皆様 おめでとうございます！

# 災害発生!! あなたはどのようにする!?

## 平常時にハザードマップを確認しよう!

例えば・・・

吉野川水系吉野川洪水浸水想定区域

あなたの施設はですか?



徳島県水防・砂防情報マップより

凡例

洪水浸水想定区域  
想定最大規模



- 20.0m以上
- 10.0m-20.0m未満
- 5.0m-10.0m未満
- 3.0m-5.0m未満
- 0.5m-3.0m未満
- 0.5m未満

※取組事例の原稿をいただいた施設の所在地です

吉野川のような大河川だけではなく中小河川でも氾濫が起こる可能性があります。

詳しくは  
県HPで  
ご確認を!



## 【レポート】

ハザードマップをもとに  
備蓄場所を1F倉庫から分散  
・1日目は各施設の2F以上に  
・飲料用保存水は各病棟へ



←炊き出し訓練レポート(美摩病院HP)

## 防災訓練・炊き出し訓練・停電訓練を経て

- 停電時は厨房のガスも水道も止まることが発覚。**  
ガス遮断弁は電気制御しており通電するまで厨房のガスは使えないこと、水道は貯水槽から電気汲み上げているため、停電中は水道も止まることが分かりました。
- ガスボンベとコンロを繋ぐゴム管の長さが足りない。**  
大きなプロパンガスに繋ぐ際にはもっと長いゴム管が必要でした。
- 非常用コンロの数が足りない。**  
水9L(50食用)を沸騰させるには20分程度かかりました。(気温25度、風なし)。別日で、水20Lは1時間以上経過しても沸騰しませんでした。(気温11度、風あり)。1食あたり60L以上沸かすのでコンロ数は増やした方がよいと気づきました。
- 50食用の白飯では60人分くらい作れるため、予備の容器等も必要。**  
非常食入れ替え時に使用しなかった容器類は保存しておいた方がよいと感じました。

## ライフライン被害想定の結果

徳島県 南海トラフ巨大地震被害想定(第二次)より



◎上水道

市町村名	直後	1日後	1週間後	1か月後
	断水率(%)	断水率(%)	断水率(%)	断水率(%)
吉野川市	97	82	62	12
阿波市	94	73	52	9

◎下水道

市町村名	直後	1日後	1週間後	1か月後
	支障率(%)	支障率(%)	支障率(%)	支障率(%)
吉野川市	10	10	10	0
阿波市				

◎電力

市町村名	直後	1日後
	停電率(%)	停電率(%)
吉野川市	100	55
阿波市	100	53

◎通信(固定電話)

市町村名	直後	1日後
	不通率(%)	不通率(%)
吉野川市	100	55
阿波市	100	53

◎通信(携帯電話)

東日本大震災では、発災直後は基地局等の倒壊・流失などによる停波基地局が相当数発生し、1日後にはバッテリーや自家発電機の燃料等の枯渇により停波する基地局がさらに増加した。その後、電力の復旧や各事業者の迅速な復旧作業により、1か月半程度で、一部のエリアを除き、復旧されたところである。本県においても、南海トラフ巨大地震が発生すると、通信インフラ等の被災や通信の集中(輻輳)の発生、各事業者による通信規制により、発災直後から非常に繋がりにくい状況となることが予想される。

発災を自分ごとと考えて  
食事提供体制を  
施設で共有しておこう!



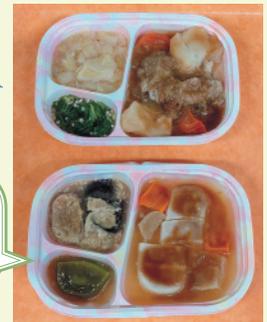
←詳細は  
こちらから

## 社会福祉法人白寿会 阿波老人ホーム よしの園

阿波老人ホームよしの園では、地域の福祉避難所にもなっていることから、7日分の非常食を備蓄しています。主食、副食ともに普通食、刻み食、ミキサー食などの食種をそろえて、嚥下困難な方にも安心して食事の提供ができるようにしています。



冷凍おかずセット  
上：やわらかおかず  
下：ムース食



非常食は、災害時だけでなく感染症でクラスターが発生した場合にも提供を考えています。食事を作る調理職員に、感染症のクラスターが発生した想定で、非常食の提供を行う訓練を行いました。思っていた以上に食事の準備に時間がかかり、人手を必要とする事がわかりました。

これらのことから、昨年からはおかずのみの冷凍弁当も3日分備蓄をして、いざという時に備えています。種類が多いので、賞味期限の確認や補充が大変ではありますが、賞味期限が近くなったものから、普段の献立に組み込んで、ローリングストックを行っています。備えを万全にすることで不安が少しでも少なくなれば大きな安心につながると思います。

## 吉野川市立鴨島東こども園



～様々な災害を想定した訓練を毎月行っています～

鴨島東こども園では、毎月違った災害種別の避難訓練を実施しています。それに併せて園の備蓄食品も定期的に確認し、期限の近づいたものを給食やおやつに取り入れて使用したり、次に備蓄するものはどんなものがよいかを検討したり、職員みんなが緊急時について常に意識を持つようにしています。また、緊急時用として普段使いのものとは別に、カセットコンロ、鍋、ボウル、ザル等の調理器具や、ラップ、アルミホイル、クッキングシート、カップ等洗浄の必要なく使用できるものを揃えています。食品はアレルギーを持つ子どもや離乳食の子どもでも食べられるようなものも用意しています。

### 【鴨島東こども園の備蓄食品例】

- ・ アルファ化米
- ・ アレルギー対応カレールウ
- ・ アレルギー対応シチュールウ
- ・ 災害食用ハイハイ
- ・ 缶入りクラッカー
- ・ 缶入りカンパン
- ・ アレルギー対応ライスクッキー
- ・ ミネラルウォーター (2L・500ml)
- ・ 各種調味料 等



## 社会福祉法人健祥会 老人保健施設 健祥会ウエル

健祥会ウエルでは他施設と共同し、大規模災害訓練を実施しました。備蓄品の確認のほか、訓練の一つとしてハイゼックスを用いた炊き出しを体験しました。備蓄品は、災害時に取りに行くことができないリスクを軽減させるため保管場所を分けて保管しています。賞味期限が近づいた備蓄品については日々のお食事として、また定期的に施設内で行っているおやつレクリエーションで管理栄養士が美味しく調理して入所者様に食べていただきました。



ハイゼックスにお米を入れ、炊き出し用の大きな釜で炊いています。



試食会。意見交換も行います。地域の方も参加していただきました。



ばさばさして食べづらい缶詰めに入った黒糖パンもやわらかくて甘い黒糖フレンチトーストに大変身。粉砂糖とメイプルシロップをかけて提供しました。

## 医療法人青鳳会 美摩病院

当院では、美摩病院、併設するやすらぎ荘、グループホームみまの患者・利用者・職員分 合計385人分を6日間備蓄しています。

保存水、アルファ化米(白飯・おかゆ)、フリーズドライの非常食(シチュー、雑炊)、レトルトのミキサー食、プリン状粥を備蓄しています。

また濃厚流動食は1週間分の在庫を持つようにし、ローリングストックをしています。

2024年度は、5年用の保存水・アルファ化米の入れ替え時期だったので、備蓄の見直しを行いました。

### ◆見直した点

#### ① 備蓄場所を分散 備蓄倉庫のレイアウト変更

2019年～水害に備え、1日目の食材を2F以上の階へ移動。今年度は、エレベーター停止時に水の運搬は大変であることを考慮し、飲料用水を各階に保管に変更しました。

また備蓄倉庫のレイアウトを食材別→1日分ごとに變更し誰でも取り出しやすいようにしました。



#### ② 備蓄数の見直し 飲料水500ml導入

以前は平均提供食数分を備蓄していましたが、近隣からの避難なども考慮し、満床数に変更しました。

また以前は全て2Lの保存水を備蓄していましたが、コロナ禍を経て、衛生上の懸念有り、飲料用は500mlのものに変更しました。飲料水は感染症対応時にも使用し、ローリングストックしていく予定です。



#### ③ 入れ替え時期を分散

これまで水や米は5年に1度全入れをしており、納品場所の関係で3日分使用後、3日分発注していました。今回、入れ替えのタイミングで、南海トラフ海トラフ地震臨時情報が発令され、備蓄の在庫が少ない状態に。また一度に300食分の入れ替えは、献立に組み込む時大変だったので、保存水は5年、7年、12年を導入し、入れ替え時期を分散することにしました。



## 吉野川市立高越こども園

### 【ぼりぼりきゅうりクッキング】

高越こども園では、食育の一環として年間を通じて園庭で旬の野菜の栽培活動を行っています。夏には、大きく育ったきゅうりを子どもたちが収穫し、給食でも大人気のぼりぼりきゅうりをみんなで作っておいしく食べました(o^ー^o)

きれいに洗うよー！



慎重にスライスして・・・



みんなで頑張った  
取り組みの様子を  
掲示しました。



先生が美味しく仕上げ♪



新鮮なきゅうりおいしいな ✨



## 社会福祉法人白寿会 阿波老人ホーム よしの園

コロナ禍があげ、少しずつ行事やイベントなど以前のように行うことができるようになりました。

9月には、久々に来賓の方々をお迎え  
して敬老会を行いました。



いろいろな種類を少しずつ  
見たりも楽しめるように・・・



10月には、備蓄食品を使ったおやつ作りとハロウィンの  
おやつバイキングを行いました。



おやつ時間に好きなものを選んで食  
べていただきました。どちらにしよう  
かな？

お菓子をくれないと  
いたずらしちゃうぞ

左：おばけロールケーキ  
右：パンプキンプリン



### 備蓄食品を使った おやつ作り

サクリとしたビスケットの  
食感を残しながら抹茶が香る  
甘さひかえめのやわらかス  
イーツの完成です！

ビスコを使った  
やわらかチーズフレ



# 各種研修会

ハイブリッド  
開催

## 総会時研修会

令和6年6月27日(木)

- ◆ 講演 給食施設における衛生管理～ HACCP の進め方について～
- ◆ 講師 サラヤ株式会社 中四国支店 四国営業所  
感染予防・食品衛生サポート部 秋月 麻里 先生

参加者の声(オンライン)

衛生管理について基本的な事の再確認をすることができました。



オンライン  
開催

## 栄養士研修会

令和6年8月29日(木)

- ◆ 講演 健康徳島 21(第三次)と徳島県食生活指針について～健康増進計画(栄養・食生活)分野を中心に～
- ◆ 講師 徳島県 保健福祉部 東部保健福祉局<吉野川保健所>  
健康増進担当 課長補佐 黒田 裕子 先生
- ◆ 講演 徳島県の野菜摂取量アップに向けた取組
- ◆ 講師 徳島県 保健福祉部 東部保健福祉局<吉野川保健所>  
健康増進担当 主事 高橋 若菜 先生



参加者の声(オンライン)

野菜や果物の摂取量が年々減少している事に驚きました。

ハイブリッド  
開催

## 管理者研修会

令和6年10月2日(水)

- ◆ 講義 要配慮者(慢性疾患患者等)の災害時栄養・食生活支援について  
～能登半島地震 DMAT 派遣の経験から～
- ◆ 講師 徳島大学病院 循環器内科講師  
特任助教 高橋 智紀 先生
- ◆ 情報提供 給食施設の取組 給食施設報告及びアンケート結果より(吉野川保健所)
- ◆ 意見交換 災害時の栄養・食生活支援対策について
- ◆ 災害時相互支援ネットワークについて「災害時の備蓄品情報交換デモンストレーション」



参加者の声(会場)

近い将来、東南海地震が起こった時に慌てないように、備蓄について再度考える時間をいただいたと思う。

オンライン  
開催

## 調理従事者研修会

令和7年2月5日(水)

- ◆ 講義・調理実習 災害時要配慮者の食事支援について  
～災害時にも活かせるアレルギー対応食～
- ◆ 講師 管理栄養士、防災士(徳島アレルギーっこの会代表) 一井 郁子 先生



参加者の声(オンライン)

アレルギー対応は、急ると命の危機に陥る可能性があるため、パッククッキングで一食ずつ作ることでコンタミネーションを防ぐことができると感じた。

【献立】 カンタン炊き込みごはん・切干大根と大豆の煮もの  
長ネギと根菜の米粉豆乳シチュー・ミートソース豆腐

令和6年度 協議会会員施設数	
学校	2
病院	9
介護老人保健施設	6
老人福祉施設	11
保育所・子ども園	17
児童福祉施設	1
社会福祉施設	2
介護医療院・その他	2
合 計	50

### 会員専用掲示板活用訓練

令和6年8月30日から9月13日まで会員専用掲示板における緊急時のコメント送信訓練を実施しました。  
今回の想定は令和6年1月1日発生 of 能登半島地震を受け、建物・通信の被害は少ないが水道管破損のため、断水・道路・吉野川にかかる橋の不通のため食材の納品が難しい状況として実施しました。



令和6年度は参加率74%  
目指そう!! 100%!

### お知らせ

本年度の研修会資料のうち協議会ホームページに掲載可能なものは、会員専用ページ《会員向け資料ダウンロード》よりご覧いただけます。  
業務にご活用下さい。



### 令和6年度 会報作成委員 (50音順)

明石 清子 (吉野川市立嶋島東こども園) 担当理事  
犬伏 蘭 (社会福祉法人健祥会 老人保健施設 健祥会ウェル)  
井上 優里 (医療法人青鳳会 美摩病院)  
齋藤かおり (社会福祉法人白寿会 阿波老人ホーム よしの園)

### 編集後記

この夏、南海トラフ地震に関する臨時情報が発令され、改めて災害への備えの大切さを実感された方も多いのではないでしょうか。

今回の会報誌では、そんな皆さまに少しでもお役に立てるよう、各施設における災害対策のヒントとなる情報を集めました。

会報誌の内容が、皆さまの防災意識を高め、災害対策の一助となれば幸いです。